科目名称：	ボランティアと社会	
担当者名：	山田真由美	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2

授業の目的・テーマ

ボランティア活動は、個人の自由意志に基づき、その技能や時間等を進んで提供し社会に貢献することである。ボランティア活動の基本的理念は自発性、無償性、公共性、率先性にある。本講では、講義形式によりボランティアの思想と歴史、そして役割やその意義、今日的課題に至るまで、具体的事例を織り交ぜながら学習する。大学生とボランティア、福祉教育について学ぶ。

授業の達成目標・到達目標

ボランティアの思想と歴史、そして役割やその意義、今日的課題に至るまで理解できる。また、ボランティアの具体的事例を取り入れながら学ぶことで、実際に自分が活動するための参加意欲を高めることができる。
大学生とボランティアという関係性について、その意義を学ぶことが出来るようになる。

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)		20	60	20	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》　障害者支援施設職員	《経験年数１》　36年11ヶ月
	《内容２》　社会福祉士	《経験年数２》21年
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ボランティアの思想・歴史の理解	ボランティアの思想・歴史に対して興味・関心を持ち理解している。	ボランティアの思想・歴史に対しておおむね理解している。	ボランティアの思想・歴史について知っている。	ボランティアの思想・歴史について分かっていない。
ボランティアの役割・意義、今日的課題の理解	ボランティアの役割・意義、今日的課題について他者に分かりやすく説明できる。	ボランティアの役割・意義、今日的課題について、他者に説明できる。	ボランティアの役割・意義、今日的課題について、なんとか他者に説明できる。	ボランティアの役割・意義、今日的課題について、他者に説明できない。
ボランティアの具体的事例	ボランティアの具体的事例について、他者に分かりやすく説明できる。	ボランティアの具体的事例について、他者に説明できる。	ボランティアの具体的事例にについて、なんとか他者に説明できる。	ボランティアの具体的事例について、他者に説明できない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	オリエンテーション実施,何をもってボランティアと言える のか学生間でグループワークする。	ボランティア活動の意義と活動内容について事前に調べておく。	30分
第２回	ボランティアの歴史についてグループで議論しその歴史的意味について発表する。	ボランティア元年に、何故多数の人たちがボランティアとして立ち上がったのかレポートにしておく。	30分
第３回	現代社会とボランティアについて、 我が国のボランティアの活動内容とその実態について学生間で議論する	何故、年々ボランティア人口が増加しているのか。特に高齢女性が多い理由についてレポートにしておく。	30分
第４回	大学生とボランティアについて,ボランティアを受ける側の ニーズ・ディマンドについてグループワークする。	ボランティアは、受け手のニーズ、ディマンドまで満 たす必要があるのかレポートにしておく。	30分
第５回	阪神･淡路大震災のときにボランティアがどのように活躍し たのか、グループで議論する。	災害ボランティアとボランティア難民について考え、レポートにしておく。	30分
第６回	ボランティアから捉える現代社会について学び、学生間で有 償･無償の意味についてグループワークする。	有償･無償活動の意義と意味について考え、スーパーボランティアの存在意義をレポートにする。	30分
第７回	ボランティアと関連領域①　ボランティアセンターの活動と 意義について学生間で意見統一し発表する。	市町村社会福祉協議会を中心にしたボランティアセンターについて、その意義をレポートにする。	30分
第８回	ボランティアと関連領域②　特定非営利活動法人(NPO)と民間 非政府組織(NGO) の意義について学生間で議論する。	NPOとNGOには、どのような種類があるのか。ネットよ り検索しておく。	30分
第９回	ボランティアと関連領域③　企業の社会貢献活動(CSR)、学生団体、各種団体について議論する。	CSRとは何か。メセナや1%クラブ、チャリティやスポ ンサーリングについてレポートにしておく。	30分
第10回	実際のボランティアのＤＶＤを視聴し、具体的内容について議論する。	視聴したDVDの感想をレポートにしてまとめる(どのようなニーズがあったのか)。	50分
第11回	実際のボランティアのＤＶＤを視聴し、具体的内容を議論する。	視聴したDVDの感想をレポートにしてまとめる(どのようなニーズがあったのか)。	50分
第12回	人道支援とボランティアについて、海外の事例を基にその意義と活動について学生間で議論する。	人道支援の種類と意義について、NGOを中心にレポートにまとめておく。	30分
第13回	災害支援ボランティア(東日本大震災でのボランティアの役割)で大切な点についてグループでディスカッションする。	東日本大震災におけるボランティアの活動について、持論を展開できるようにしておく。	30分
第14回	福祉教育とサービスラーニングについて学び、何をもって福祉教育と言えるの学生間で議論する。	サービスラーニングの種類と内容についてレポートにしておく。	30分
第15回	まとめ。小テスト実施。大学生におけるボランティアとは何か言葉で言い表せるように学生間で議論する。	全ての授業範囲を復習しておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。
1回の小テストで20点、毎回のレポート作成で60点、授業への積極的関与で20点とする。

課題に対してのフィードバック

毎回作成するレポートは評価し、コメントを付けて返却する。小テストも同様に返却する。

教科書・参考書

「参加の力」が創る共生社会　　大阪ボランティア協会　早瀬　昇　著